

2024 年 9 月 27 日

株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ

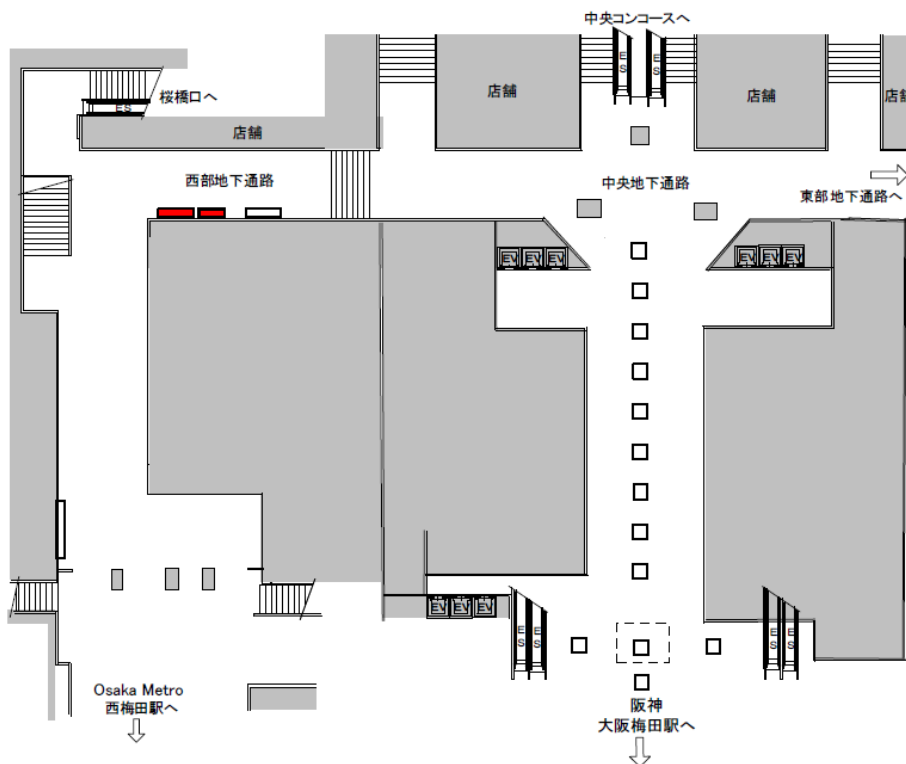
株式会社 SO-KEN

OOH 交通広告「駅ポスター」を、体験型バズ媒体*¹ として活用し、 情報拡散を誘発する実証実験を開始

株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ(本社：大阪市北区、代表取締役社長：伊藤 義彦)と株式会社 SO-KEN(本社：大阪府箕面市、代表取締役：浅尾孝司)は、インタラクティブな印刷技術「プリンテッド XR®」を取り入れた広告媒体枠販売の実証実験を共同で9月30日(月)から開始します。

JR 大阪駅桜橋出口付近の大型 OOH(駅ポスター・ジャンボ媒体)を活用して、SNS 拡散を誘発することにより多くのオーディエンスにリーチできる「体験型バズ 駅ポスター」を掲出し、販売の可能性を高める実証実験の1回目を実施します。初回の広告主様として(株)ワコール「CW-X」が本取り組みにご協賛頂きます。

【掲出場所 MAP】



【注意事項】

- ・ 駅並びに駅員への問い合わせはご遠慮ください。
- ・ 写真撮影の際は周囲の方へのご配慮をお願いいたします。

*1 体験型バズ媒体とは、掲出内容にリンクしたクリエイティブな演出で話題性とエンタメ性を付与し「驚き」「感動」「共感」「称賛」による拡散心理を誘発する最新の OOH 施策です。

■CW-X と本広告について

1991 年、ワコール人間科学研究開発センターの豊富な知見と独自のテーピング原理を応用して開発されたワコールのコンディショニングウェアブランド CW-X。

CW-X がコンディショニングの重要性を伝えていく為の活動「TeamCW-X」のボディコンディショニングパートナーとして、この秋「樽美酒研二さん」を新たに起用。ブランドプロモーションの中で「樽美酒研二さん」のストイックな姿を表現することで、幅広い方々にコンディショニングの大切さと「CW-X」の魅力をアピールします。本交通告では、9/30~11/3 までプロモーションビジュアルを掲出。期間中、抽選でサイン入りポスターが当たる特別キャンペーンを実施し話題化を狙います。



■今回の取り組みとねらいについて

従来は見せる事を目的とした駅ポスターを、プロモーション枠として最適な媒体に一新させる取り組みとなります。

①従来型のOOH告知



②体験型のOOH演出



例:視認によるリーチ数よりも → 話題化拡散できれば10万リーチした実例も(結果上回る)

■OOH の媒体位置の定義・概念とは？

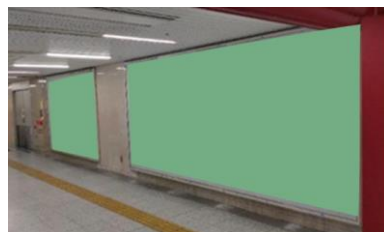
A：従来型の駅ポスター



■人通りが多く反復して見てもらえる場所

■遠くても視認性がある大きい媒体

B：体験型に合う駅ポスター



■一定のスペースが確保できて流動を阻害しない場所

■近くて大きさが感じられる体験度が増す媒体

「駅ポスター」を従来の掲出では感じられなかった場所や枠の価値を「体験型バズ駅ポスター媒体」として、高い価値の場所に生まれ変わらせ、最適な媒体として活用することが可能となります。

広告主に向けては魅力的な最新の認知拡散ツールであることを知って頂き、情報をより多くの顧客に伝達する新たな広告手段として認知を広めていきたく、広告媒体社含め両者が WinWin になる取り組みで課題の解決を図りたいと考えています。

■テクノロジーが解決しているコト

従来型の OOH では、認知は取れますがバズの観点で見ると写真を撮って SNS にアップするまでの行動を引き起こすための仕掛けはありません。

インタラクティブな仕掛けを容易に施せる「プリンテッド XR®」は OOH 広告と WEB メディアの組み合わせ施策をスムーズにつなぐ新たなプリントテクノロジーと言えます。

また「プリンテッド XR®」はクリエイティブな演出領域を拡張していることが POINT で、アナログでありながら動き(体験)による演出も可能です。驚きや称賛によるバズを誘発しやすくします。

[株式会社 JR 西日本コミュニケーションズの課題解決ポイントと期待できる効果]

従来の駅ポスター媒体では、多くの人に見てもらおう事でリーチさせるという事が目的でしたが、新たな掲出手段によって、その場にはいない人にも拡散させてリーチする事で、媒体の活用提案や価値向上に繋がりたいと考えています。

[株式会社 SO-KEN の課題解決ポイントと期待できる効果]

SO-KEN ではあらゆるアナログ OOH の価値向上に取り組んでおり、様々な実証実験にチャレンジしたいと考えています。今後も弊社として引き続き新たな検証パートナーを全国募集しています。

【SO-KEN について】

SO-KEN は、インクジェットで創出できるエンターテインメントバリューを創造し研究開発で実現を目指す研究開発型企業です。
特殊プリンティング技術の開発・特許ライセンスビジネス・プリンテッド XR®の受注、販売・フードプリンターの販売事業などを行っています。
印刷市場が縮小する中、あらゆるモノやサービスがデジタルテクノロジーにシフトしていますが、プリントテクノロジーにもまだまだ伸びしろがあり、視点を変えた新価値創造に取り組んでまいります。

【J R 西日本コミュニケーションズについて】

J R 西日本グループの総合広告会社です。クライアントの課題解決に取り組む「広告会社」、J R 西日本グループの宣伝・広報を担う「ハウスエージェンシー」、J R 西日本グループの交通メディアの開発・運用を行う「交通媒体社」としての3つの機能を持ち、データやノウハウに基づくソリューションを提供しています。